

おうちで、レッツトライ！（レベル4）

「三崎マグロのことを調べてみよう」



古くは縄文時代の遺跡から、マグロの骨やつりの道具などがみつかっています。江戸時代には、漁具や漁法が発達し、マグロをたくさん採るようになったそうです。

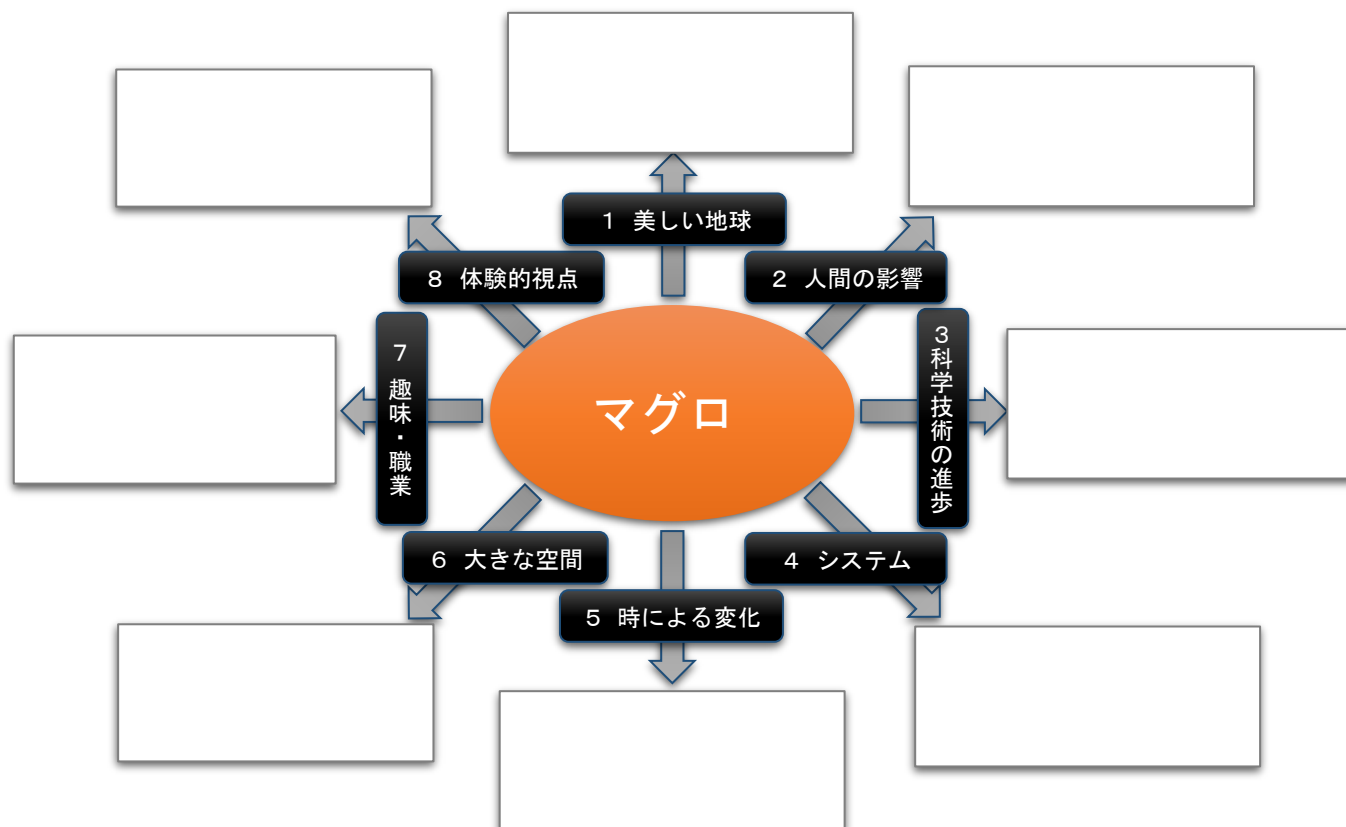
三浦市では、大正 11 年に初めて三崎魚市場が開設されて、マグロの取引が始まったとされています。その当時は、生のマグロをあつかっていたようです。今では、遠洋マグロ漁業の基地として、全国のマグロ漁船の水あげ漁港として、知られるようになりました。

三浦市を代表する三崎マグロについて、みうら学・海洋教育の一環として、ぜひ、調べ学習に取り組んでみてください。

育んでほしい資質・能力

- ・ 海に関する基礎的・基本的な知識・技能を活用し、思考・判断・表現しながら、持続可能な社会の実現に向けて、どのように社会・世界とかわかり、よりよい人生を送るかを考えて行動する。

マグロに係る問題を見つける（アースシステムの視点から）



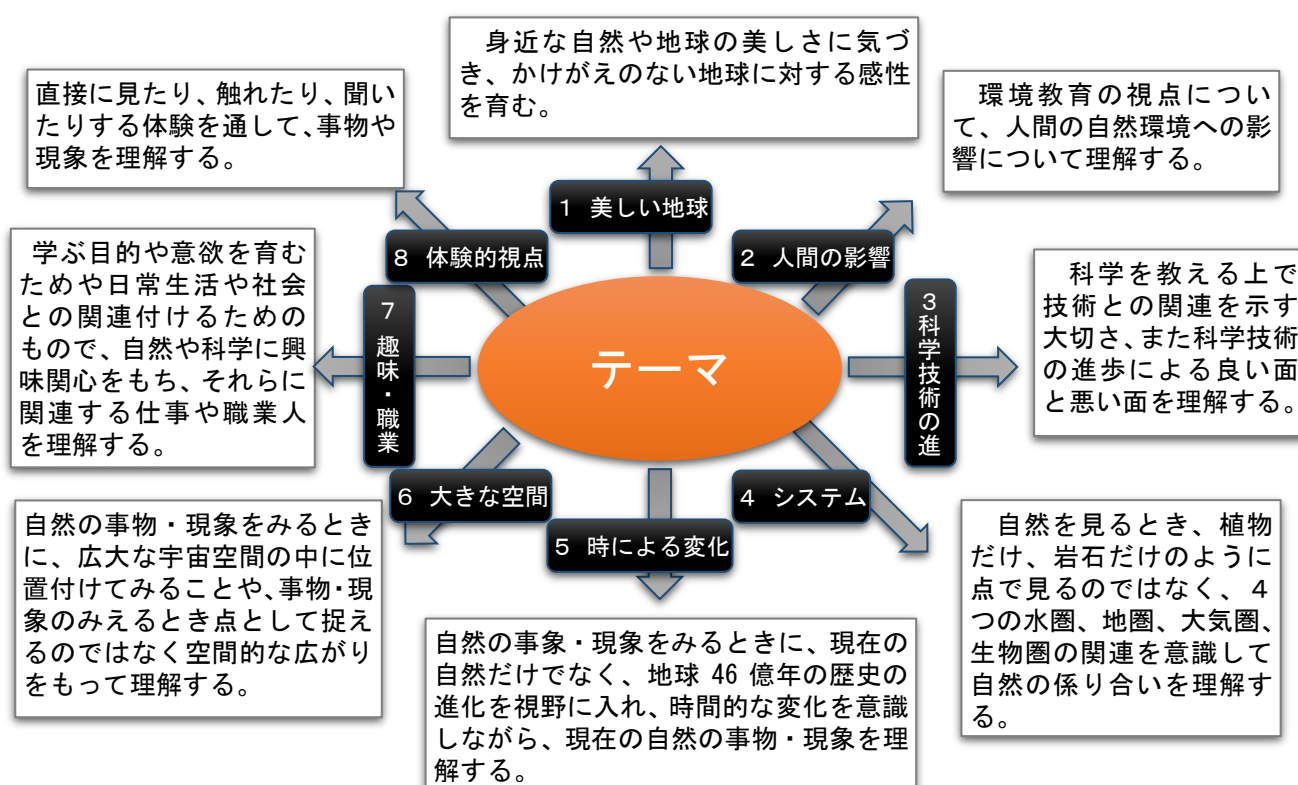
アースシステムの視点から、マグロにかかわる問題を見出すとともに、問題解決に向けての計画を立て、調べた事柄を比較したり関係付けたりしながら、意見を形成しましょう。

また、持続可能な社会に向けた取り組みについて発信してみましょう。 →ワークシート

資質・能力（コンピテンシー）について どんな資質・能力を育みたいですか？

	海に親しむ	海を知る	海を守る	海を利用する
小学校低学年	・海に関する基礎的・基本的な知識・技能を着実に獲得しながら、身近な自然的事象や社会的事象に興味・関心をもつ。			
小学校中学年	1. 海に関する問題を発見し、観察、実験や調査活動を通して、海に関する基礎的・基本的な知識・技能を活用しながら解決を図る。 2. 自然的事象や社会的事象について、事実とその要因を関係付けて捉え、自分の考えをもつ。			
小学校高学年	1. 海に関して発見した問題を定義し、解決の方向性を探して計画を立て、結果を予測しながら実行するとともに、新たな問題を発見して学びをつなげていく。 2. 持続可能な社会の実現に向けて、自然的事象や社会的事象についての事実とその解釈についてお互いの多様な考え方を共有し、自分の考えを評価・改善しながら自分の意見を形成する。			
中学校	・海に関する基礎的・基本的な知識・技能を活用し、思考力・判断力・表現力等を生かしながら、持続可能な社会の実現に向けて、どのように社会・世界とかわかり、よりよい人生を送るかを考えて行動する。			

見方の視点（アースシステム）について ものの見方を広げてみましょう。



みうら学・海洋教育では、①資質・能力を育むこと ②見方の視点を身に付けること を目指します。

①資質・能力 ここでは、問題解決学習プロセスにおいて、「問いを見いだす」「解決の方法を計画する」「調べたり体験したりする」「調べたり体験したりしたことから考えをまとめる」などの能力を育みます。資質・能力は、年齢に応じて、低・中・高学年、中学校ごとに到達目標を設定しています。

②見方の視点 ここでは、アースシステムを活用します。アースシステムでは、地球をひとつのシステムとして見ることで、それぞれの事象・現象を相互作用的に捉えます。具体的には、学習材を多角的に捉えられるように8つの視点から見つめるとともに、それぞれの視点を通して他の学習材とのつながりを見出し、学びの可能性を広げていきます。

ワークシート

学校名

なまえ

ステップ①



調べた問題

ステップ②



調べ方

ステップ③



観察、実験の結果、調べたことの結果

[illegible]

ステップ④

[illegible]